

Re:Rape 4

最終話

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

あらずじ

ある男は自殺を決心した。
毎朝通った駅で、電車に飛び込むうかと
悩んでいたところで、不思議な少女と出会う。
彼女との出会いで男は、死ぬ前に願望であった
少女をレイプする。

ふと目が覚め、夢だったのかまた同じ日が始まる。
いや何かが違う。その前も同じ夢を見ていた。
男は同じ今日を繰り返していることに気付いた。

いつから繰り返しているのか、わからない。
今日が何回目の今日なのかもとくに忘れた。
この逃れられないループに、だが男は
少女を好き放題犯し遊び、
これを終わらせる気はなかった。

また今日が繰り返され男は少女達をレイプするのだが、
しかし、いつの頃からか満たされなくなつた男は
理想の少女を求め始める。

そして彼の求めている少女は
彼女だとわかつたのだった。



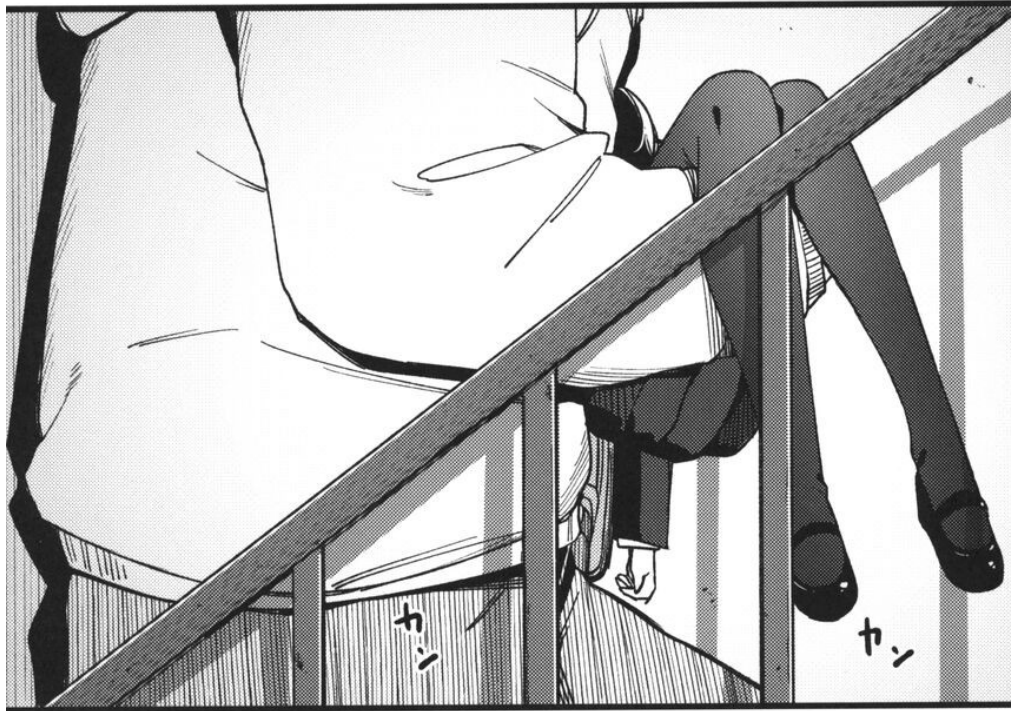


同じ日を繰り返す
この世界から
抜け出す方法

それはおそらく
わかっている



僕はこの世界の
今日に
閉じ込められた



今日自分は
死ぬ運命だったんだ

それにあらがった
ために僕は明日を
迎えられないんだろう



だから簡単だ
この世界を
終わらせるには…

よいしょ…

トサ

僕が…

ふう…

はは…

死ぬことだ



髪の毛
さらさらだ

すっ...

シャンプーと
お日様のいい匂い



すっ

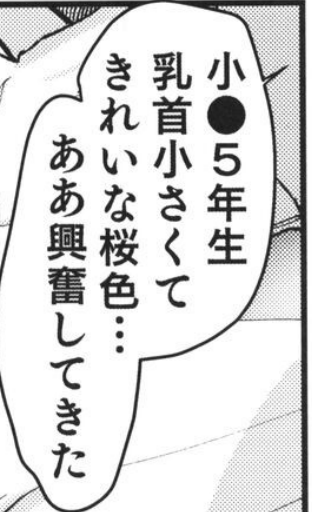
肌すべすべ
ぶにぶにだ



じゃあ
脱ごうね...?

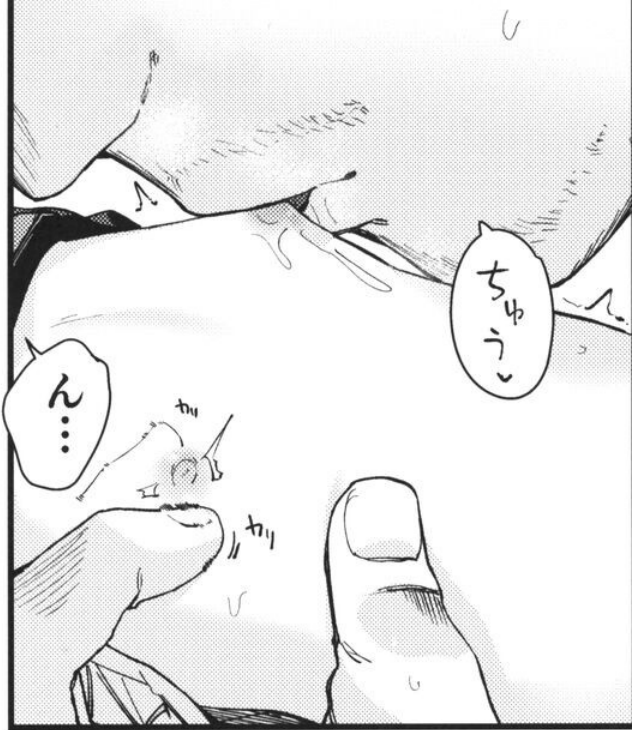
おっ子供ブラ
かわいい

ぶち



小●5年生
乳首小さくて
きれいな桜色...
ああ興奮してきた

ふっ





そして君は
誘拐されちゃったんだ
佐倉胡桃ちゃん♪

ひっ…



え…わたし…
どうして…？

あー
パニックっちゃってるね
ここはおじさんちだよ



はっ！
はなしてっ！

おうちに
帰してっ！



だから
おとなし…

やだっ！



たすけ…っ！！



ほら大人しく…

だれかつ！

だれか
助けてっ！







それじゃもっかい
教えた通りに
言っってね

さん
はい

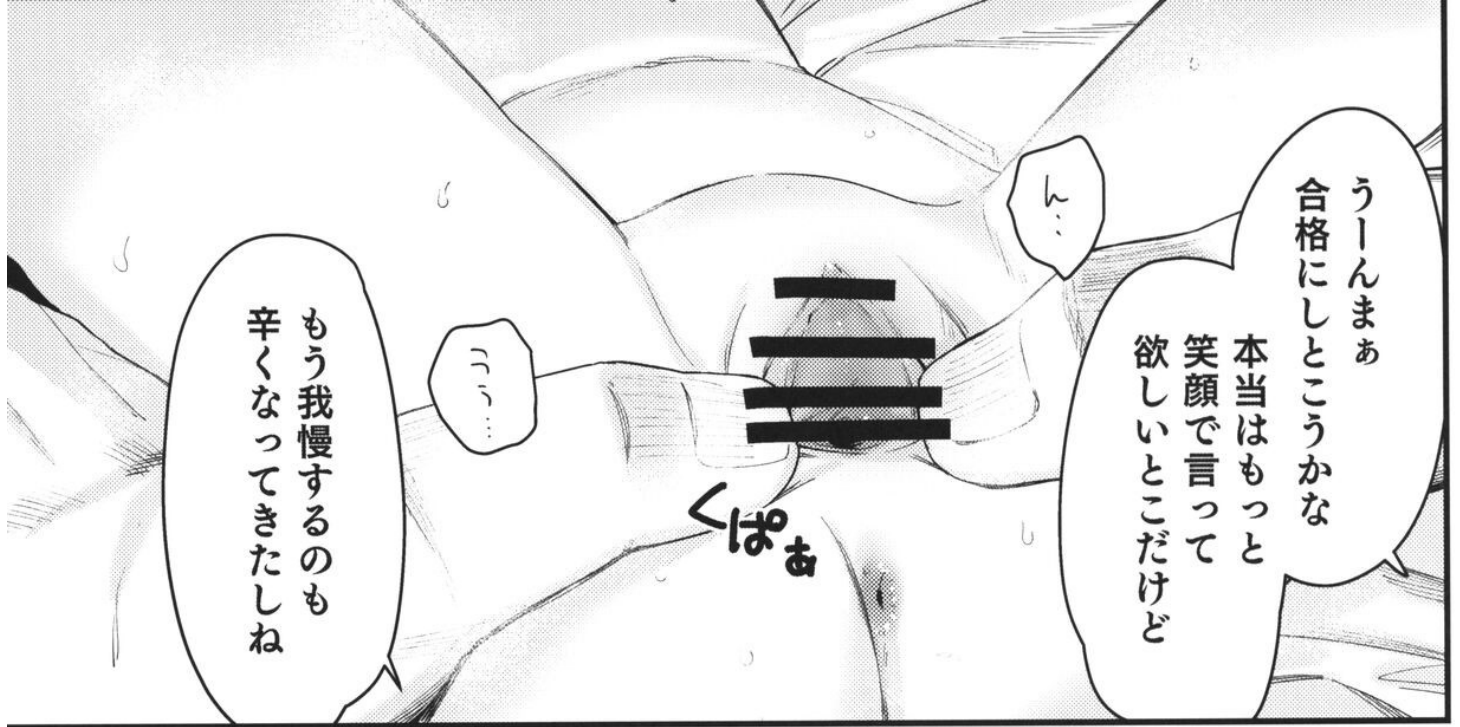
…はい



さくらんぼみ
佐倉胡桃
●●小の5年生です…
知らないおじさんに
ゆ…誘拐されました…

…11才の
こども処女おまんこに…

おじさんの…
お…大人ちんぽ
うっ 入れてください…っ



うーんまあ
合格にしとこうかな

本当はもっと
笑顔で言って
欲しいとこだけど

もう我慢するのも
辛くなってきたしね



ほら見て
もうガチガチ

これを君に
突っ込むんだよ？

ひっ…



あははその
怯えた顔めっちゃ
そそるわ

小○生のくせに
ちんぽイライラさせるの
上手だね●●ちゃん♪



ほら
ここまで
入っちゃうからね

うそ…
むり…です

無理でもムリヤリ
突っ込むから
内臓とか
潰れちゃうかもな

…うう



や…やだ

はいはい
暴れないでね

じゃないと
逆に危ないよ
おー
おにぶにだ

…つ



ほらほら
よく見ててね
胡桃ちゃんに
初ちんぽ入るところ

や…やだ
こわい…



せつ

せつ

せつ

あ
あ
あ
あ
あ

ほら胡桃ちゃん
大人になろうね

おぬぬぬ

おー
これが膜だね
力込めていくよ



は…

は…

はは…
初めてレイプしたとき
思い出すなあ…

ほらほら
少しずつ入ってくよ
あーめっちゃやせま…



おお：
すごい抵抗感
骨が当たってる
感じもするし：

ゆっくりはちよつと
厳しいから強引に
押しこんでいくね



うお...っ

ぶち
ぶち

おお：
膜破れたかな？

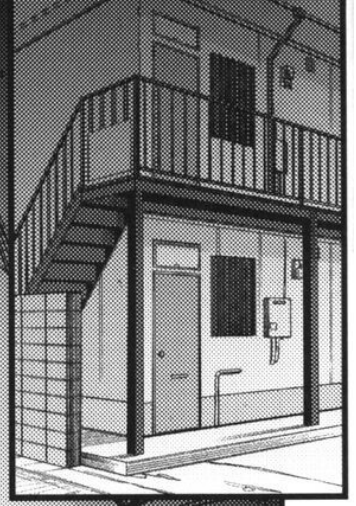


あ...入る...
ああ.....

はっ

はっ

あ...
あ...
あ...



はは…すごい
おじさんの全部入ったよ？
子宮ごと奥まで
押しこんじゃったかな



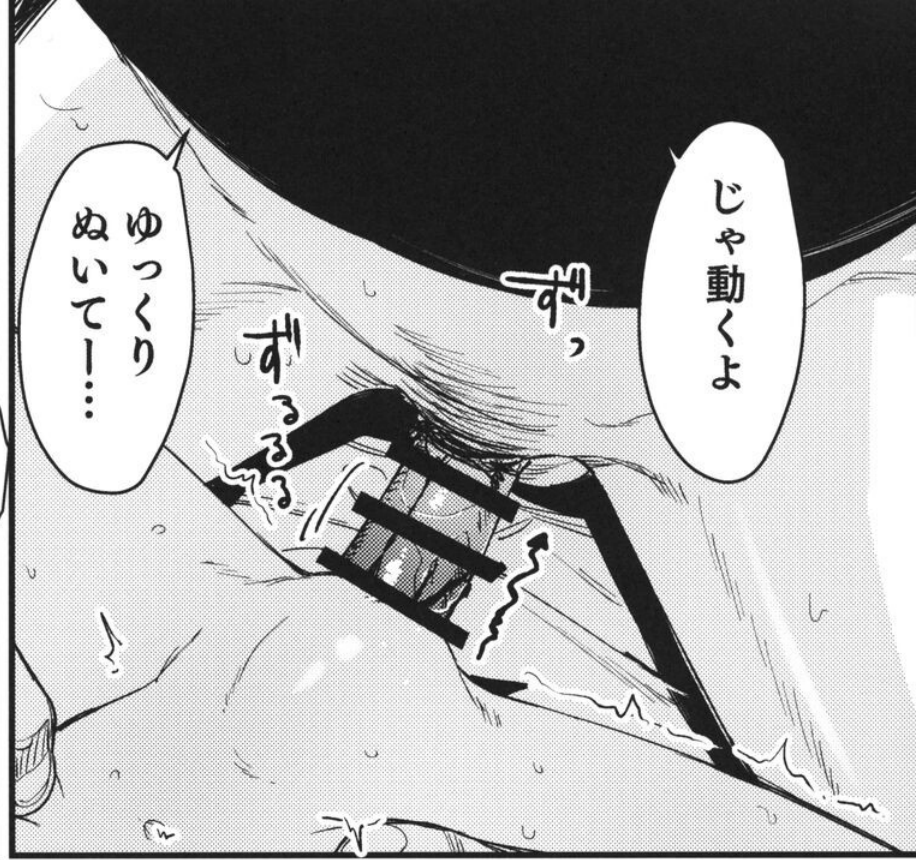
あ…ぐう……
手で握られてるみたいに
ギチギチに締め付けてくる…
この極狭アツアツまんこ
やっぱ……

最近雑に犯し
すぎて忘れてたよ…

小●生レイプ
最高……っ



瞳内の傷こそすれて
痛いよね
でも我慢だよ？



じゃ動くよ

ゆっくり
ぬいてー…



また奥まで
押しこむっ…！

おっおっ

ポヨン

おっおっ

あは…すごい声
たくさん叫んでいいよ
その方が犯してる気がして
チンポにくるし…♡



おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

突くとちんこの形
浮き上がってるな
こんなとこまで
入っちゃってるよ

これじゃ
赤ちゃんの部屋
壊れちゃうかも

あ…やだ…!!

大丈夫
今日のことは何も
無かったことになるから
全部元通りだよ

あー精子昇ってきた…
ねえ胡桃ちゃん

「中にだして」
って言うってよ

ははっ
まあ意味
わかんないか

え…や
それ…
あかちゃんが…

へー?
嫌なんだ



おうちに
帰りたくないってこと？

…っ

う…
うめんなさいっ！

言いますっ
言うからやめてっ！



うん？
何を言うのかな？
はやく言わないと
苦しいよ

うぐ…

…だ
…だ

えー？
聞こえないよ



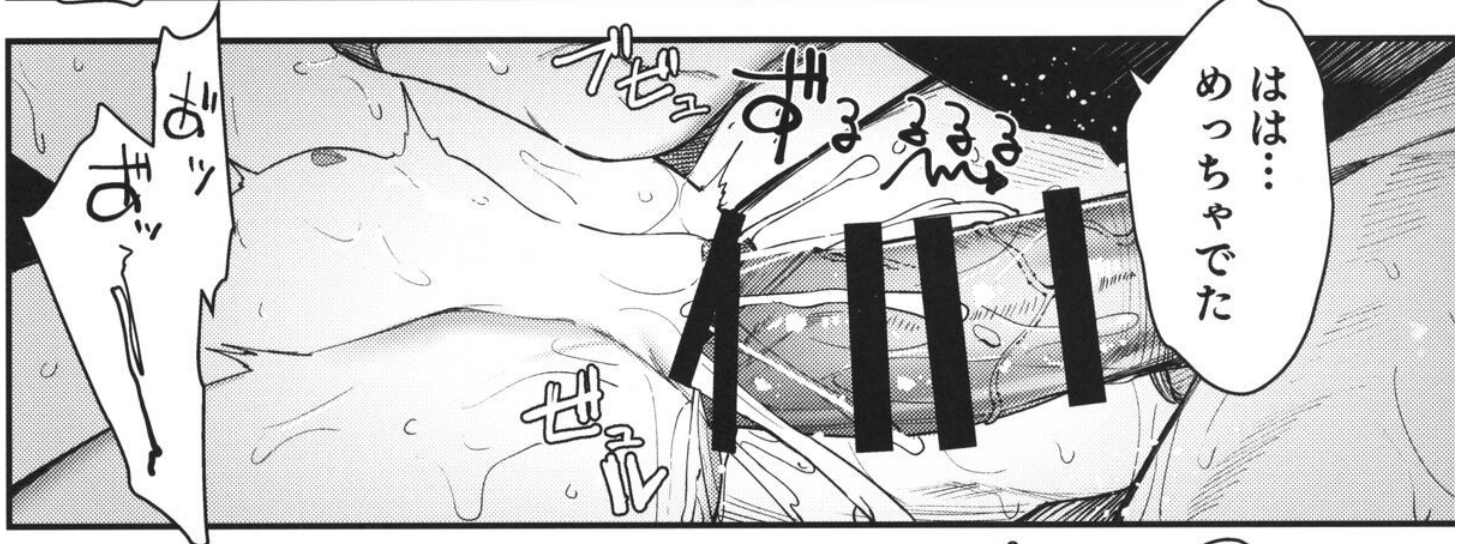
な…
なかに…っ

…だして
…だ



まだだてる...

はは...
めっちゃでた

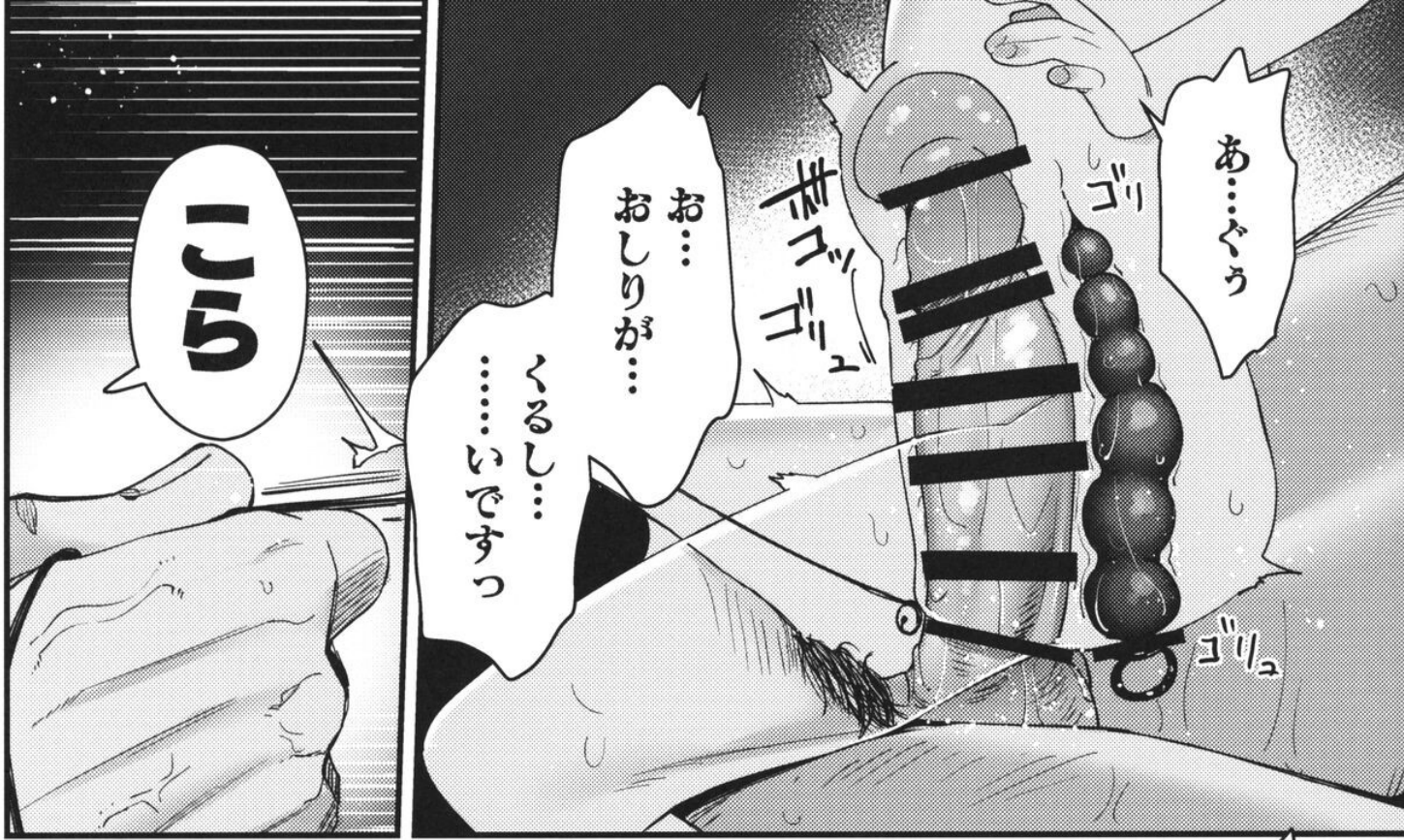


おめい

ふう...
気持ちよかった



でも...
最後だからもう少し
付き合ってたね



いっす

あ……ふっ

キュッ
キュッ
キュッ

お……
おしりが……

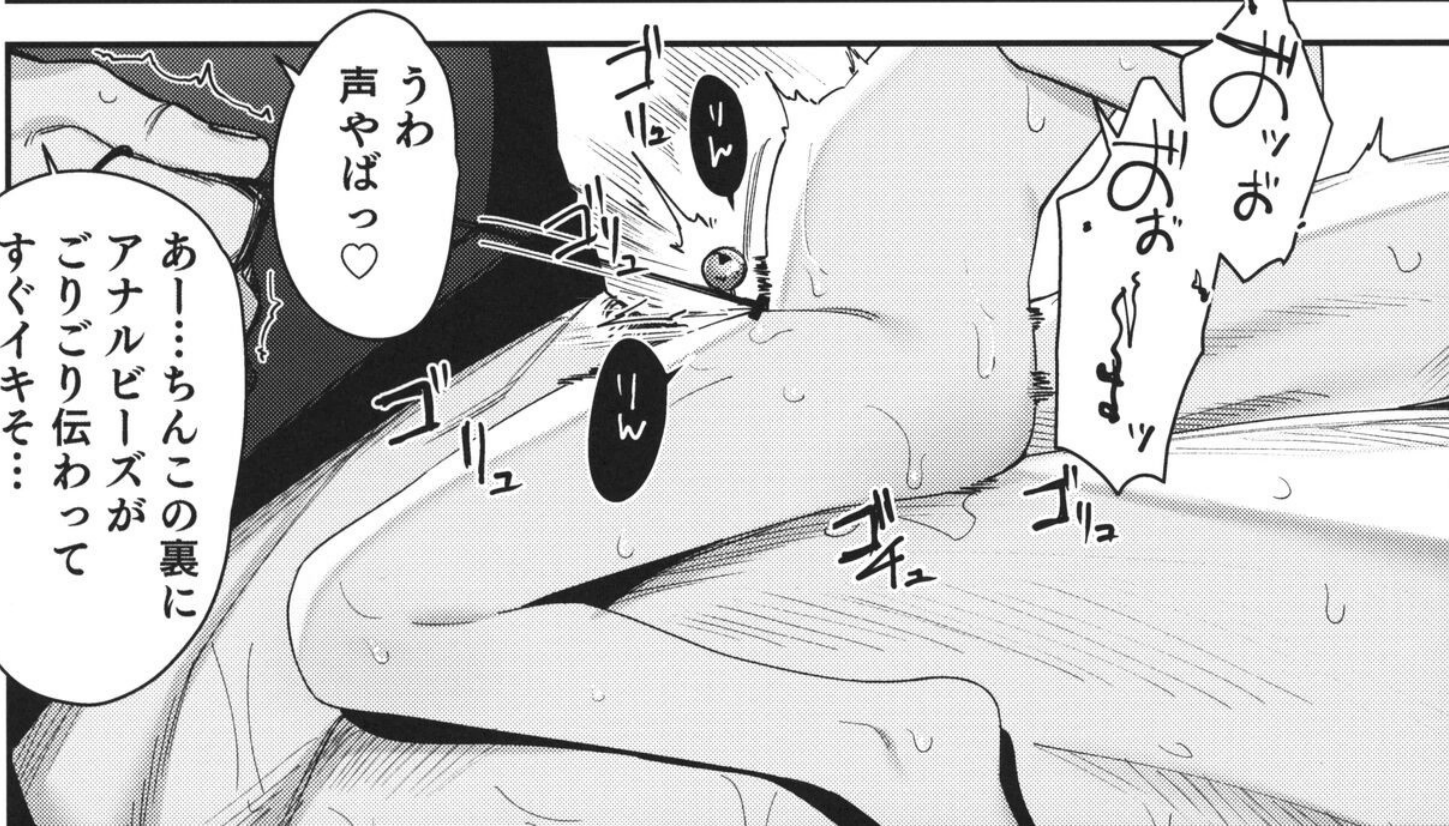
くるし……
……いですっ

ゴリッ



自分から
動けないなら
この紐で手伝って
あげなきゃね

ほらほら頑張れ



うわ
声やばっ♡

あー……ちんこの裏に
アナルビーズが
ごりごり伝わって
すぐイキそ……

あ……

あ……

あ……

あ……

あ……



ほらおじさん
イクよ?

だから
一緒に...

グ
お...ッ

ハッ
キュ

ハッ
キュ

ハッ
キュ



イトッ



お、お、お

ハッ
キュ

ハッ
キュ



お掃除も
ようやく
覚えたね

あー
また小便したく
なっちゃったな

……っ
ねえ教えたよね
どうするん
だったっけ？



こ…このまま
わたしの口を…
う……

おじさんの
便器として…
使ってください…っ



よしよし
今度はさっきみたいに
吐かないようにね

……ふあい
あゝ
であるよ

ズッ
びん



僕は
思い出したんだ



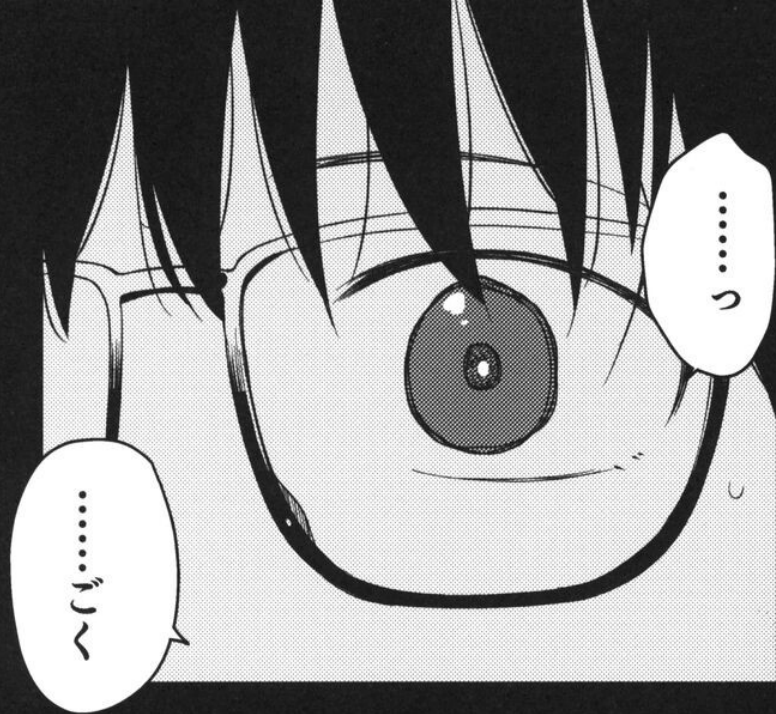
あのことね...

あの公園で
何が起きたかを



そこで
彼女は……

僕と彼女は
日が落ちた公園で
別々に
探し物をしていた



そこで
彼女は……

男に
襲われていた





男は何かを
話していた

僕は助けなきゃ
そう思った

だけどその
姿を見た僕は…

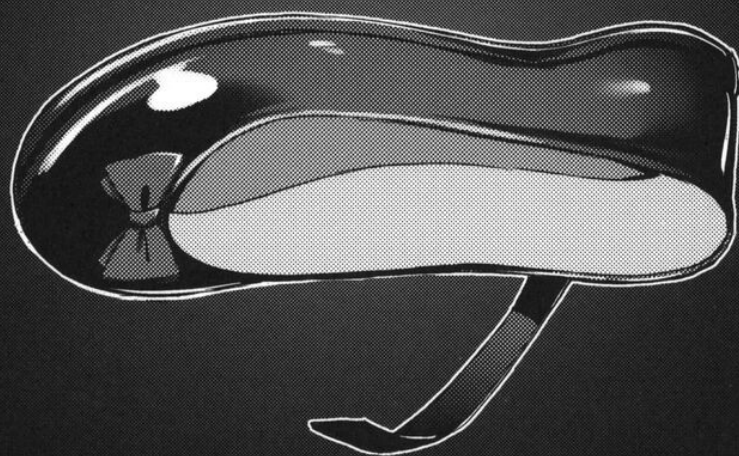
彼女に静かにするよう
脅しつけていたのだろうか

言い知れない
興奮を
覚えてしまったんだ



Re:Rape

最終話 :||





彼女が消えてから
僕の世界は灰色だ

いつもあのことを
忘れようと必死
だった



ん…

せせせ



ただ自分も
同じように
少女を自分の
モノにしたい

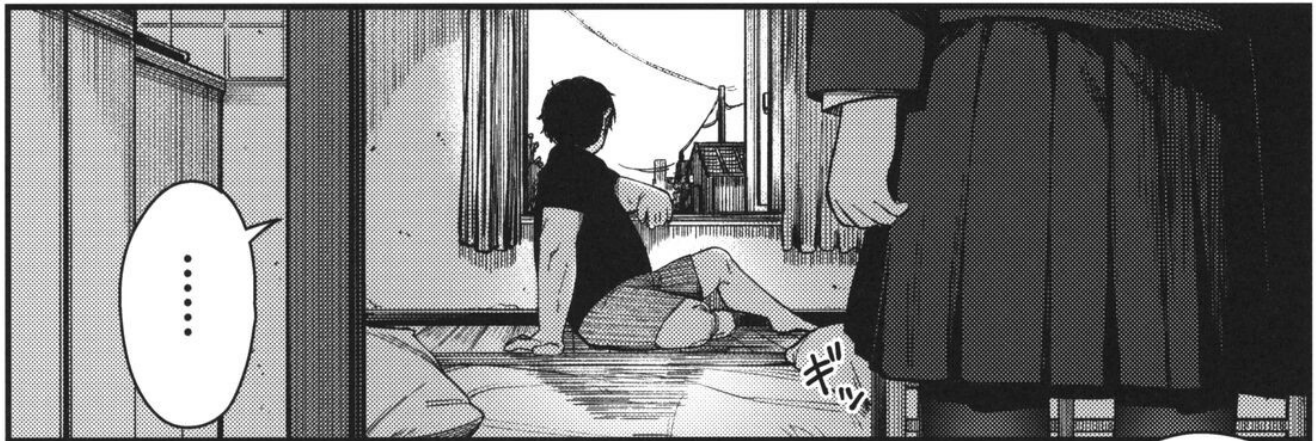
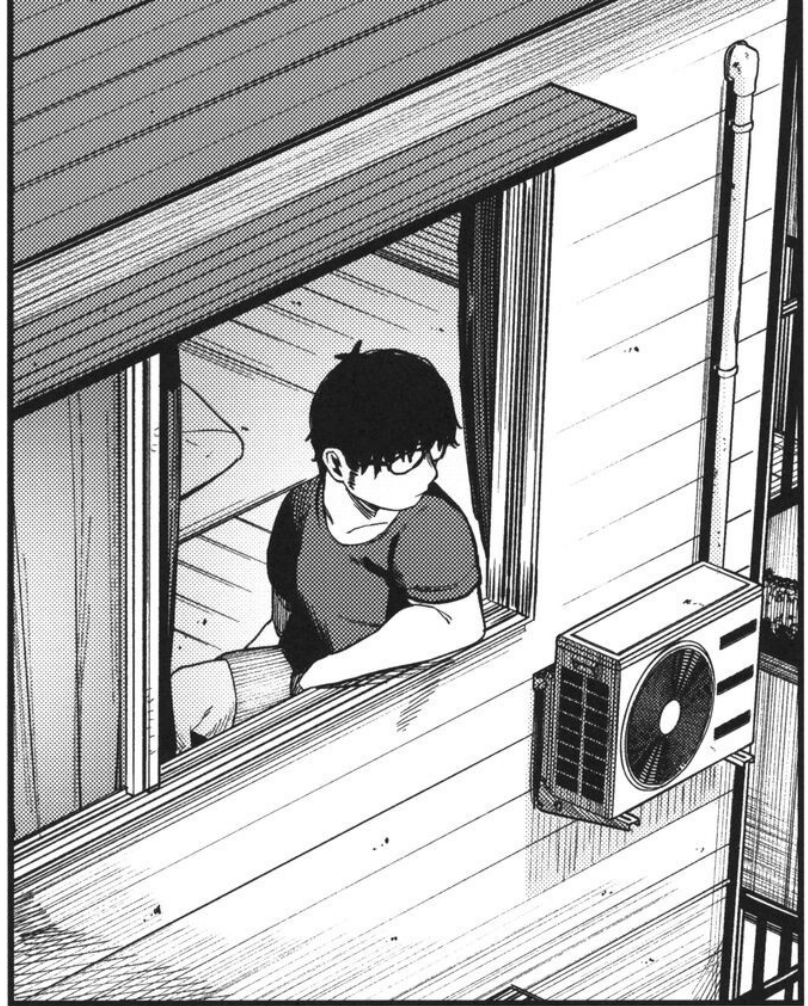
穢れない少女の
未来を僕が
奪ってしまいたい
事件の記憶を
封印しても
そんな考えばかり
浮かんでしまう
ようになった



でも少しだけ違った
誰でも良いわけではない
ようやくわかった

僕だけのモノに
したかったのは…

彼女だ





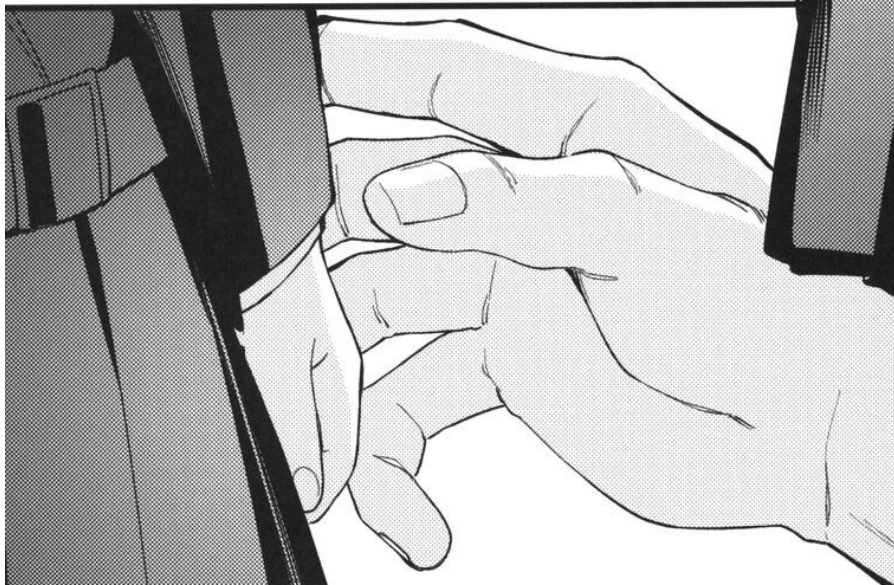
そろそろ
飽きた？

...か



君を...
待っていたんだ

時也





あの日から...

ずっと
こうしたかった

君を
レイプ
犯したい



.....

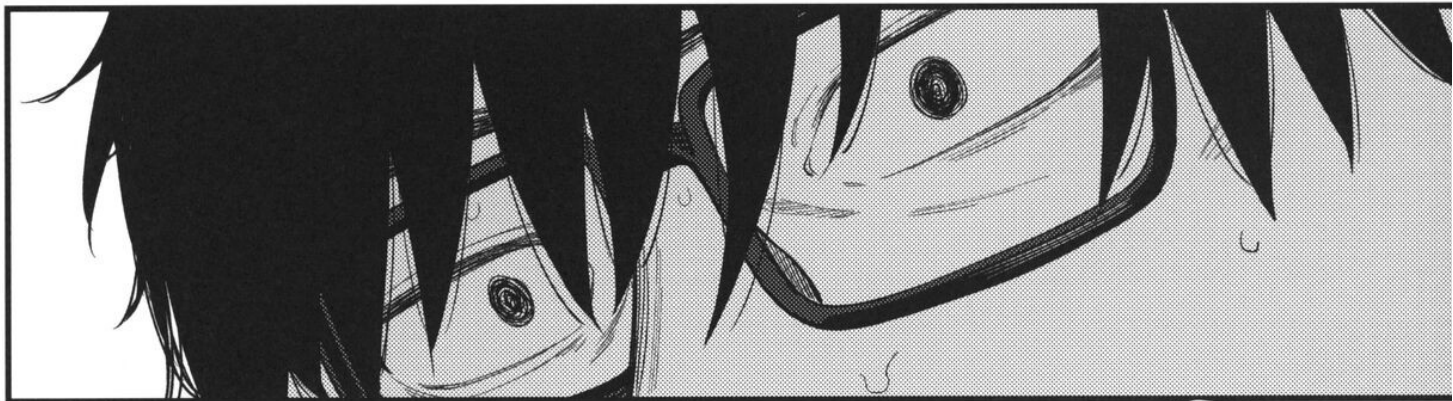


いっよ

そのかわり...



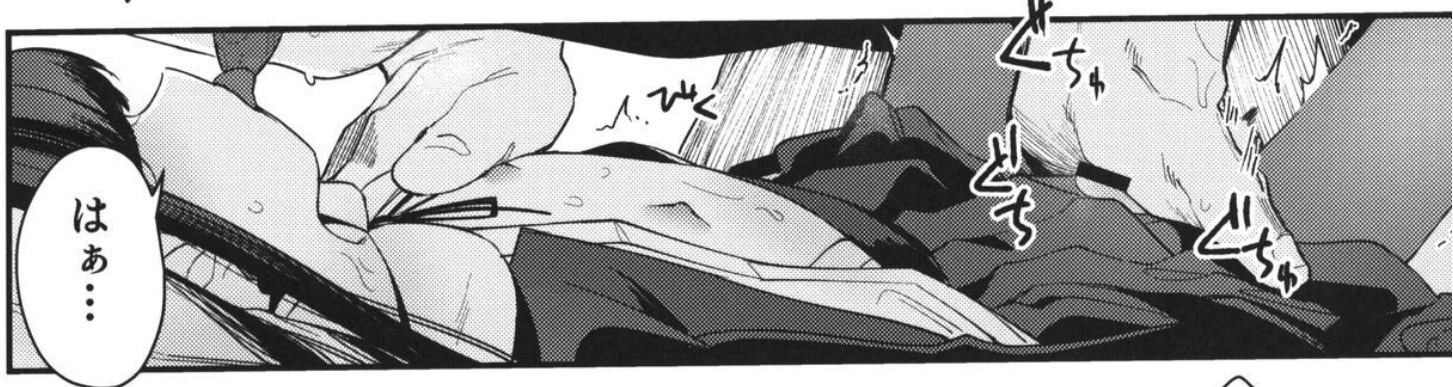
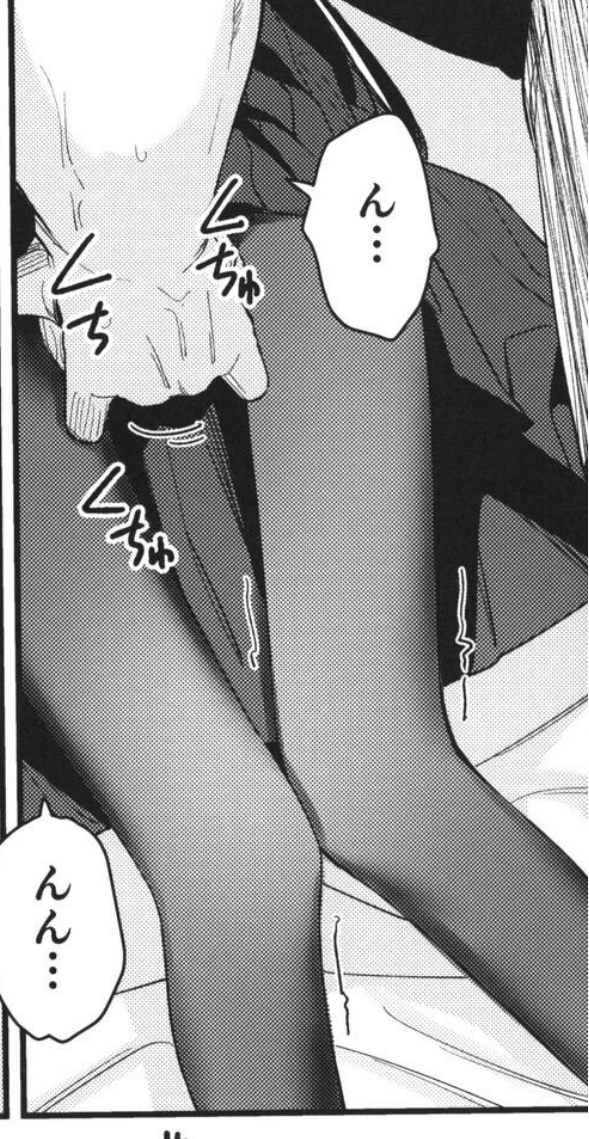
死んでくれなっ..



ギョッ
ギョッ

.....,







こんなにガチガチなのに我慢して...

う...

せキッ

せキッ

せキッ

どうせぜーんぶ元通り

あ

でしょ?

気にしないで?心配ないから



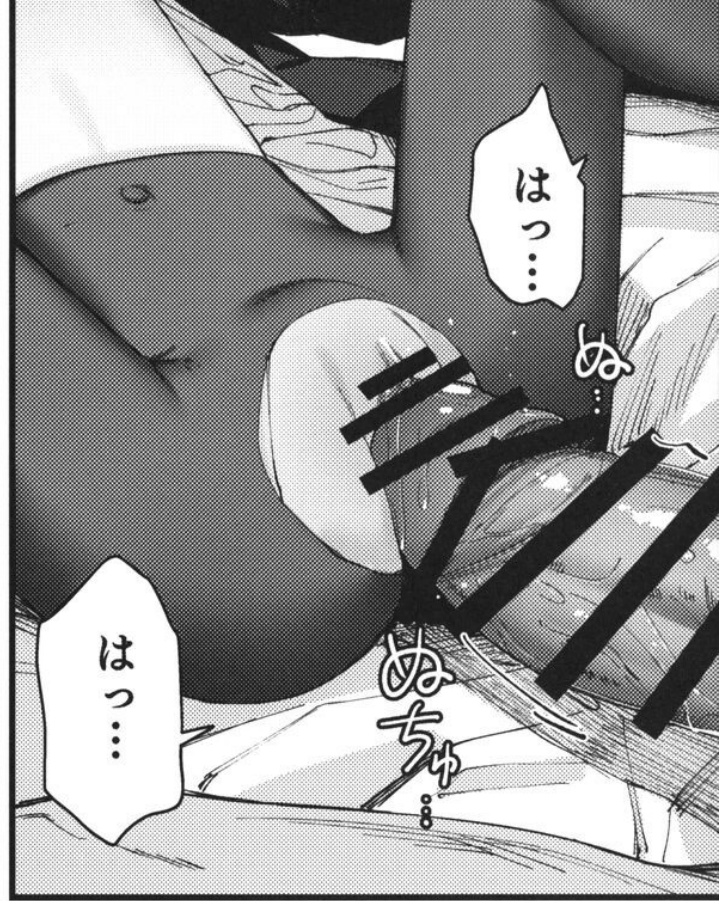
ほら早く入れて?

おあ

びん

あ...ああ

大丈夫だから私を時世のものにするんでしょ?







それから
どれほど時間が
経ったかわからない

あゝっ

締め付けられて
やば…っ！

アナル…っ

あゝっ
あゝっ
あゝっ

ふふっ♡
私のこと好きに
使ってくれて嬉しい

君の全部を
もらいたいんだ…っ

ぬるるる

あゝ…
あゝ…



何時間…何日経ったか
朝も夜もなくなり
それでも僕らは身体を
重ね続けた

ド
ナ

ずる…
ずる…
ずる…!!



明日にもならず
今日にも戻らず
しかしそんなことは
もうどうでもよかった

はっ…はっ
はっ…!!

ぜんぶ…っ！
腹の中にだす…っ！

〜…

おっほっほ
おっほっほ

せむせむせむせむ
せむせむせむせむ
せむせむせむせむ

せむせむせむせむ
せむせむせむせむ

せむせむせむせむ
せむせむせむせむ
せむせむせむせむ

せむ

せむ

せむせむせむせむ
せむせむせむせむ
せむせむせむせむ

はあ…
はあ…

せむ

せむ

ぬほ

はあ…

はあ…



僕を助けて
くれたんだ…?

…ん



どうして
君はいつも…



いつだって
君は来てくれた…

どうしてなんだ
だって僕は何も…
何も出来なくて…



え…



それは
私が時也に


救って
もらったから



私はいつも
一人だった



友人はいなく
親も忙しく会話も
ろくに無かった



でもそれが当たり前
別に普通のことだった



ただ意味のない
つまらない日々を
過ごしていただけ

だけれど
そんな放課後に

…ねえ



…い

一緒に
帰らない？



…

どうして？



だって一人は…
さみしいから



そう言われて
初めて
わかった

……
さみしい



一緒に
帰ろう

私は
さみしかったん
だって




いっよ

え




時也は私を
助けてくれたの

孤独な世界から
救ってくれた



だから
時也が困っていたら
私が助ける

あたりまえ
……でしょ？



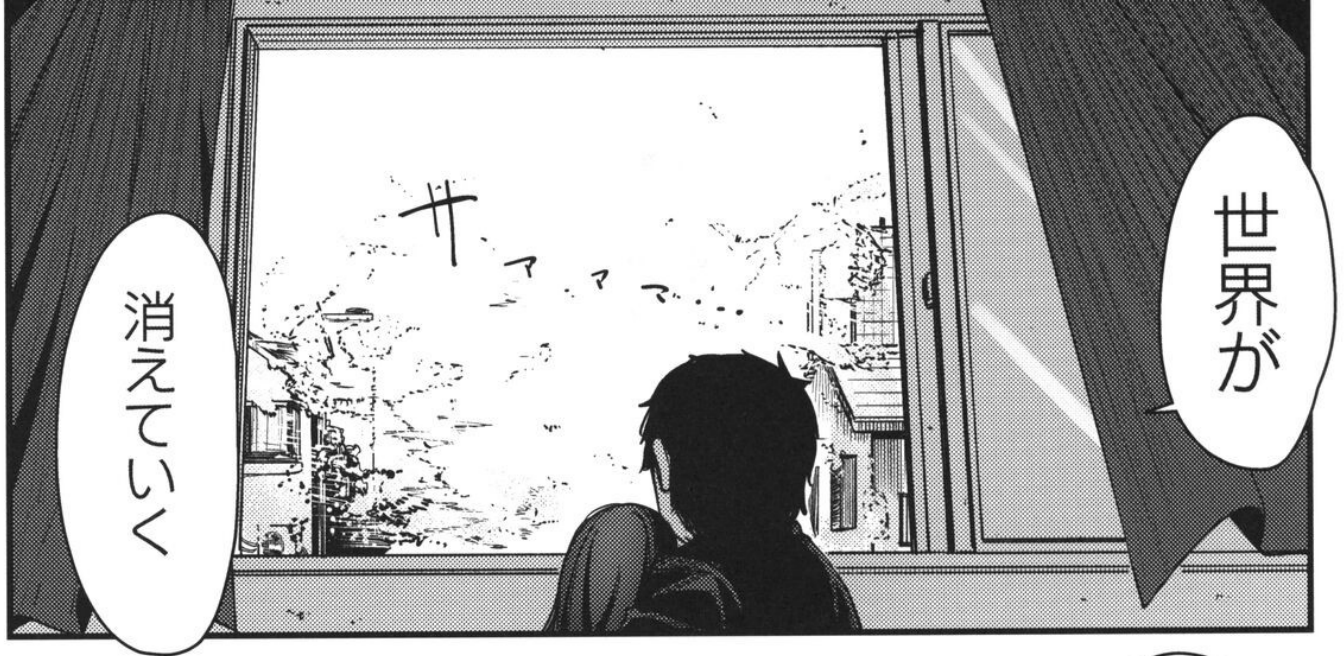
…あれは
自分も同じだよ
寂しかったからさ…

僕だって君に
救ってもらったんだ

ふふ…
それなら
私も嬉しい



……あ



消えていく

世界が



もう限界みたい
今日がおわって…

また今日が
はじまる



…ねえ
時也

また私を
助けてくれる？

…ああ
君のためなら
何でもするよ

ふふ…
うれしい

それならさ
時也…



死んで

それから





わたしを
助けに来て



⋮



ああ



今日

僕は死ぬ

そして

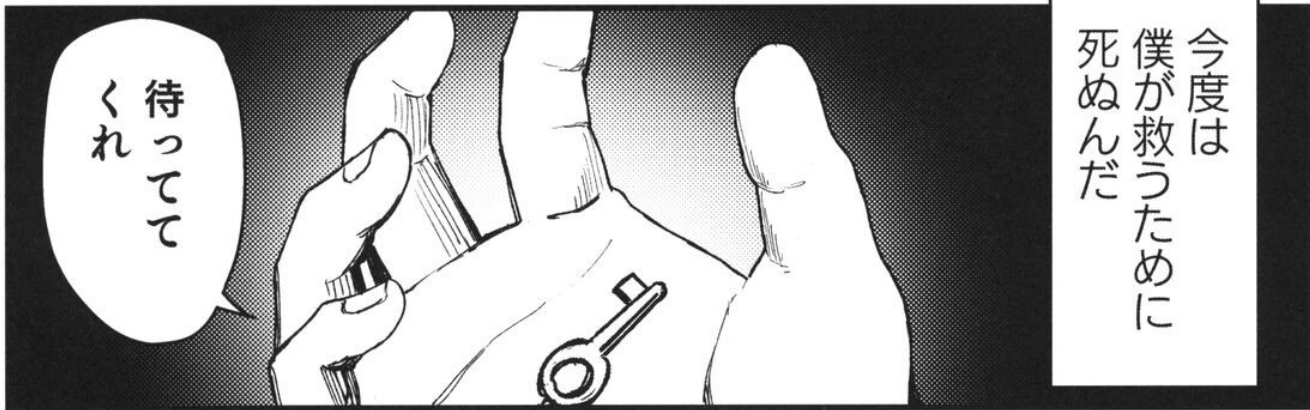
このループも

終わるのだろう

だけどループを
終わらせるために
死ぬんじゃない

約束したから…
今も独りきりの
彼女を

いつも僕を
助けてくれた
彼女を



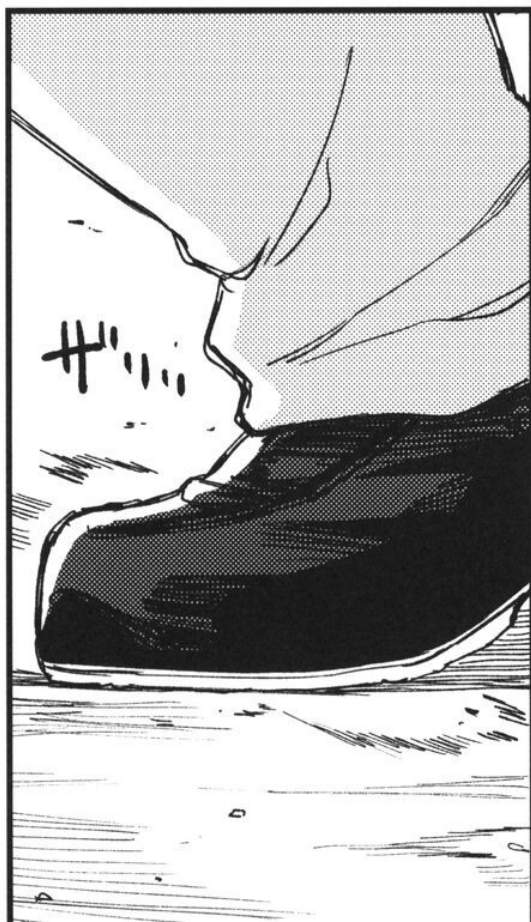
今度は
僕が救うために
死ぬんだ

待ってて
くれ



絶対…

絶対助けに
いくから





いったい
どういうことなのか
わからない

ハイ



これで
どうなるかも
わからない…

でも
約束したんだ
彼女と



今から僕が
死んで…っ！

ガッ



君を
助けに行こう





ア
ア



オ
オ

オ

オ



オ

オ

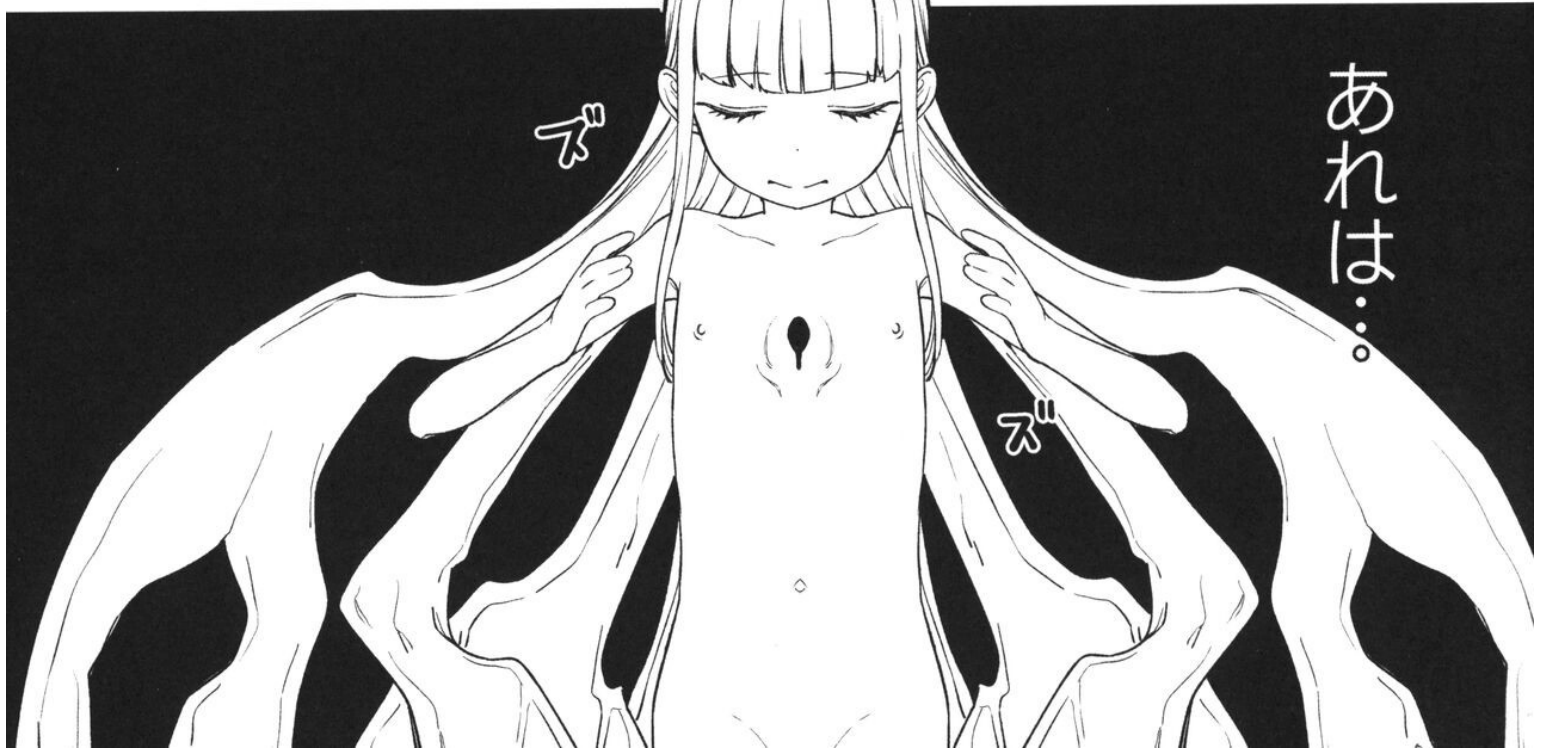


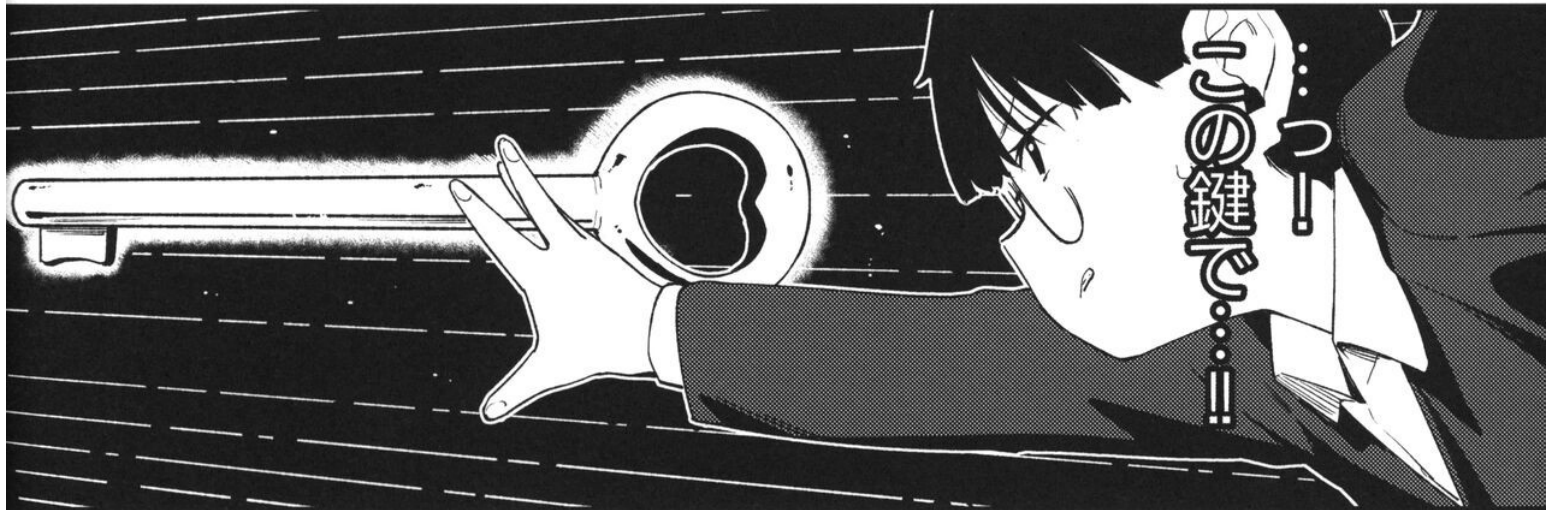
オ

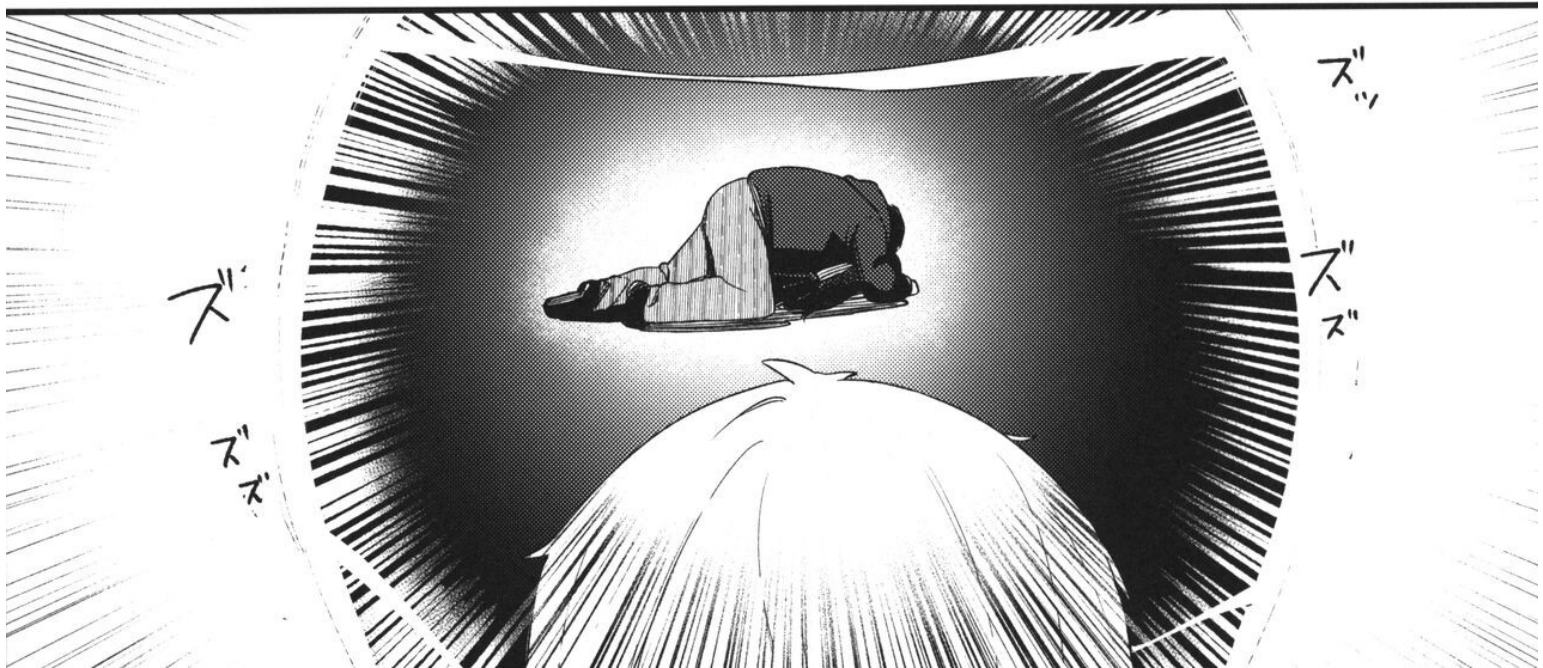
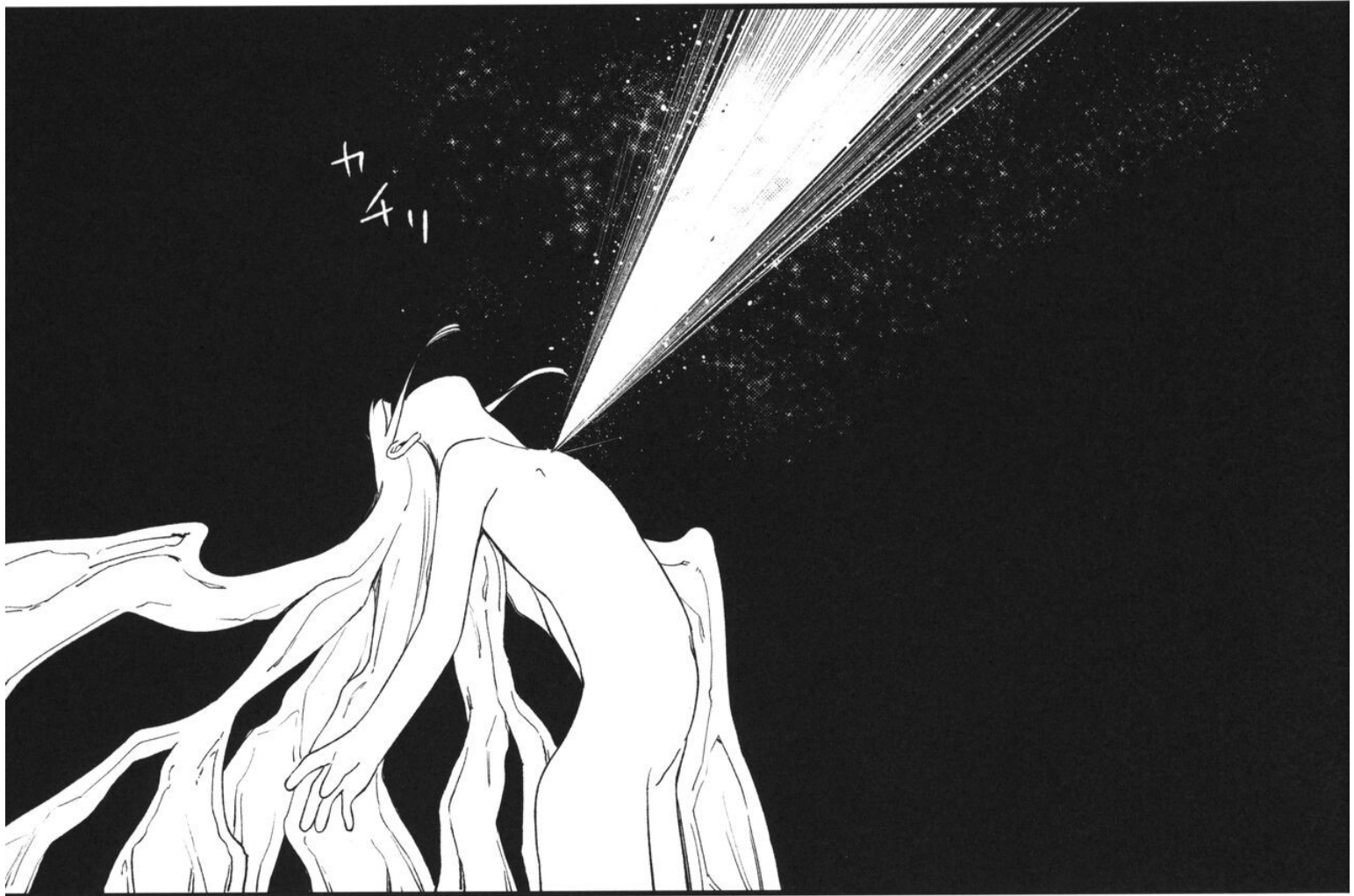
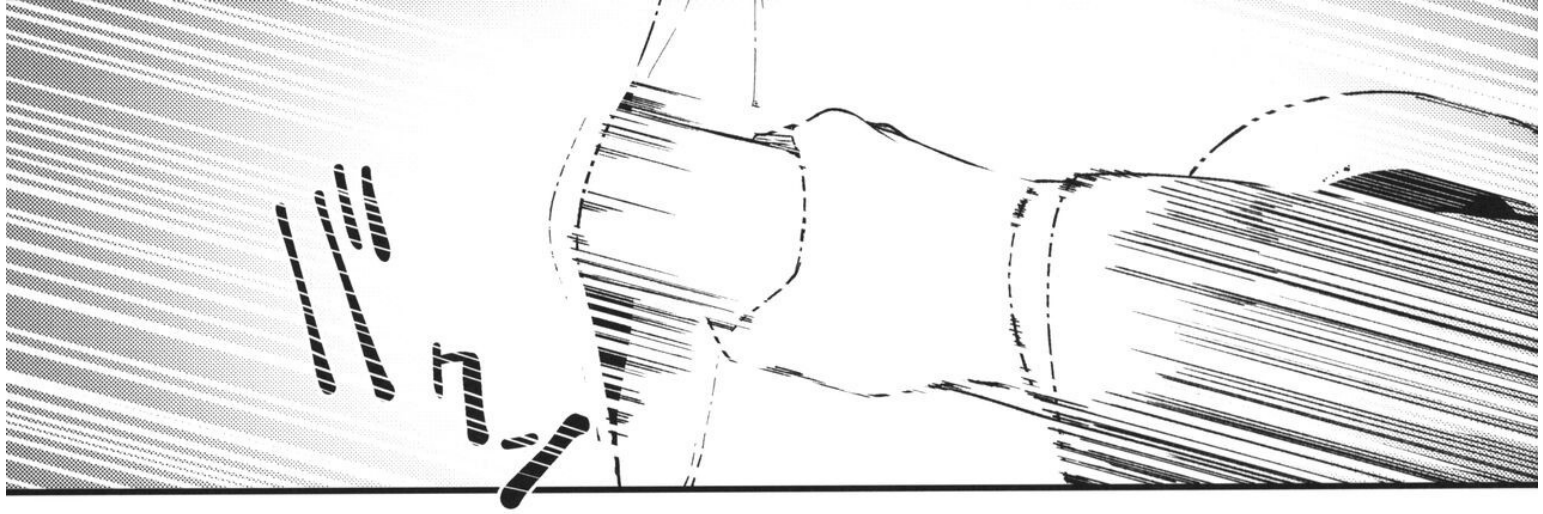


ト
コ
ロ











な……

なんだよ
コレ……っ



あれは……
あの日だ……

彼女が
男に襲われた
あの日……



そうか
このために

彼女を
助けるために



約束したんだ
どんなに怖くても
足がすくんでも…

僕が…



君を
助けるって！

…



れんに
手を出すな!!

な...



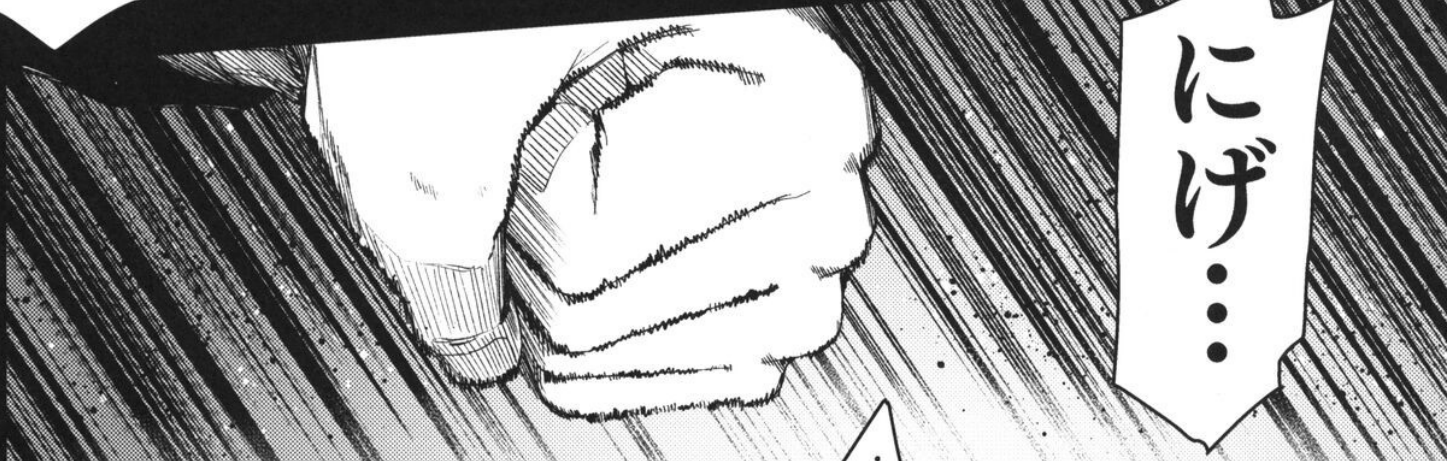


れん!

今の
うちに……っ



時也!



にげ……



クソガキが!

ジャマしやがって!
クロス……
クロス!

た……



ガッ

ひっ……

たすけて！

おいあっちの方で
悲鳴が

…チツ

ああ…
おーい
誰かいるのか？

時也…

時也！

ときや…

ときや…っ

子どもが
倒れてるぞ！

救急車
早く…っ！





本当に
寝すぎよ？



…え



はあ…
ようやく起きた



おはよう
時也

きみは…



おはよう



れん…



でもさ…
まだ実感わかないよ
あれから十六年も
眠っていたなんてさ

はあ…
まだ言ってる
待ってるこっちはずごく長かったんですけど？

はは…
…ごめん



それよりさ
寝てる間
なにか夢とか
見たりしたの？

…うん
見たよ



恐ろしい夢だったよ
僕がたくさんの人に
非道なことを
繰り返すんだ…
まるで自分が
自分じゃないように

僕の心のどこかに
ソイツがいるのかと
思うと… 怖いよ



ふうん…
まあ多分大丈夫
なんじゃない？


え？
何を根拠に…

それは
だって…



私を助けに
来てくれたから

もう
心配ないよ



そうかも…
アイツは向こうの
世界に捨てて
きたはずだ

…

それはいいとして
ずっと私を一人ぼっちにした
お返しが欲しいなー

あー…
君を助けた命の恩人
ってのじゃダメ？

それは最初の一年
くらいの看病で
チャラにしたから
あと十五年分ね

ははは…
手厳しいね
……じゃあ

もう二度と
一人にはさせないから



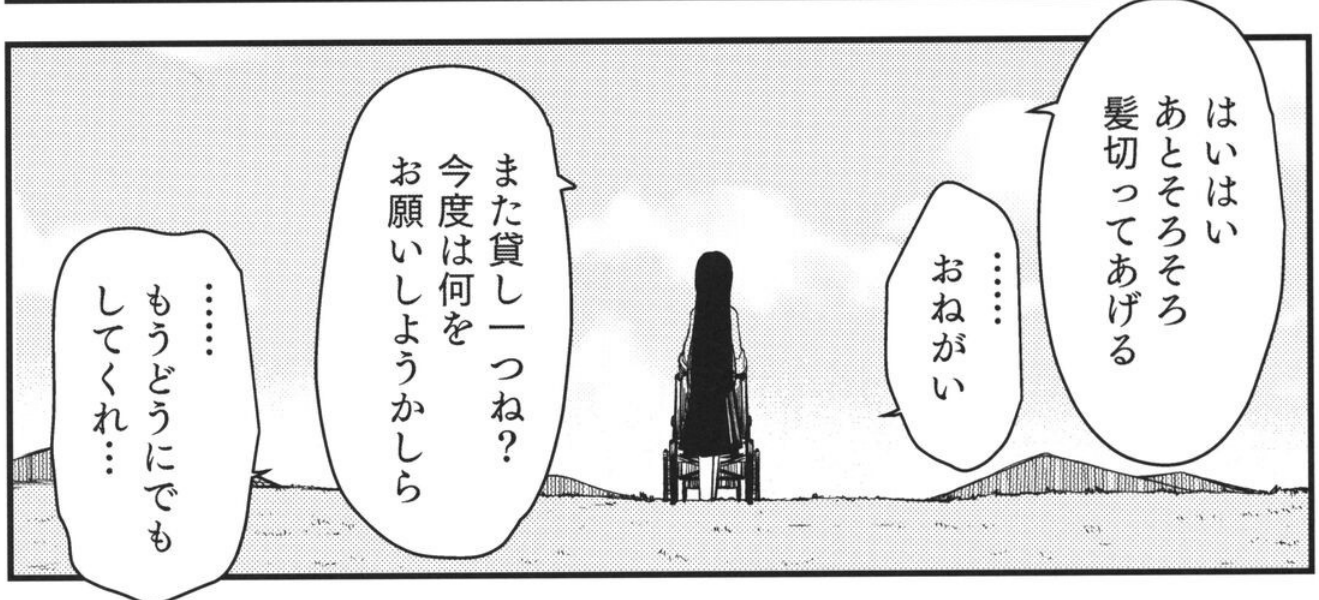


まあとりあえずは
それでいいわ

とりあえずって
なんだよ…っ

ふふ…
ほら帰るわよ
冷えてきたし

く…
死ぬほど
恥ずかしかつたのに…

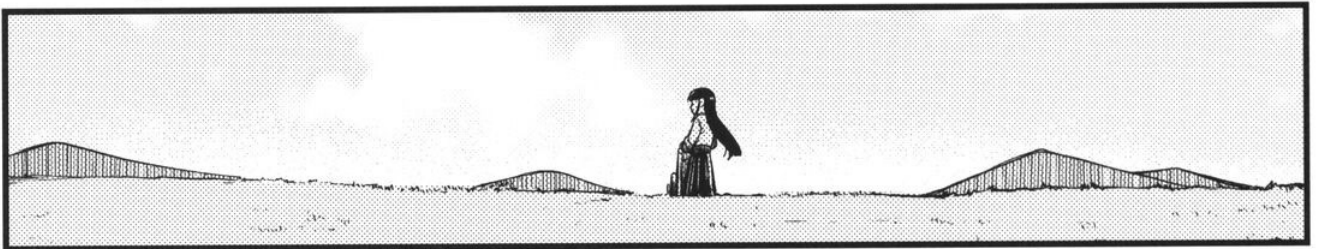


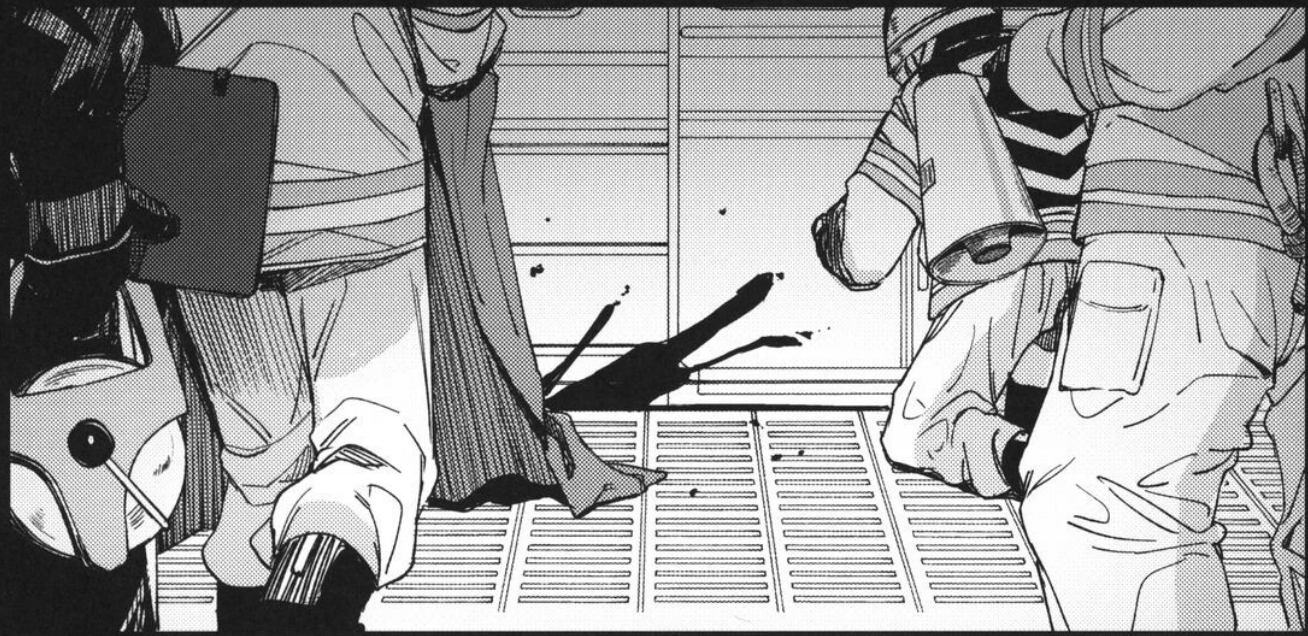
はいはい
あとそろそろ
髪切ってあげる

…
おねがい

また貸し一つね？
今度は何を
お願いしようかしら

…
もうどうにでも
してくれ…





Re:Rape 完

あとがき

どうもホロナミンです

re:rape完結いたしました！めでたい！

最後まで頑張って描き切れてよかった…。

そろそろ完結しなきゃと思ってネームをやり始めたら

今までで最長のページ数になってしまいましたね…。

今回はどうしてもエロ以外のページが増えてそれに合わせてエロシーンも

増やさないと…とかやっていたら1か月で76Pというアホみたいな

スケジュールになり地獄をみたよ！もうやりたくないよ！

ということでre:rapeですが、少女レイプ×ループものというのを

書いてみようという感じで始めました。

それに死んだらループではなく、死なないとループする世界。

そのうえループ世界を楽しんで終わらせたくない主人公という話でした。

ラストは最初から決めてましたが、これならたくさんの少女とエッチできる

エロエロ漫画になるぞー！という考えでしたね。

この最終話はすごくちゃんと漫画を書いているなって感じがしたんですけど

その反面なんか死ぬほど恥ずかしい…エロシーンで自分の性癖を

晒しながら書くよりも何故かよっぽど恥ずかしいんですけどこれなに？

……ということで次はもう少しお気楽なアホっぽい漫画を書きたいです。

貞操観念逆転世界をずっとやりたかったからそれにしようかなとか、

でもエロ漫画として使えるし、漫画としても面白いんじゃないかな？

ってやつをこれからもやっていきたいですねえ…。

それでは金縛りにあい、髪の毛の長い少女が自分の布団から出て行って

シャワーに入るみたいな現象に遭いつつ(そのあと確認したけどお風呂は

使用された後はなかったよ)睡眠不足で限界な状況ですので、また今度…。

Re:Rape 4 最終話

発行日 : 2023年12月31日
サークル : ホロナミンZ
発行者 : ホロナミン
連絡先 : horonamin@gmail.com
印刷所 : 株式会社 栄光 様

無断転写・複写・転用・web上へのアップロードを禁止します。

こう
したかった…っ！

突然同じ一日を繰り返すことになった男は、
様々な少女を繰り返して襲って行く。

全てが一日でリセットされ、
何をして無かったことになる世界で、
男は少女を犯すことを楽しんでいく。

しかし、いつの頃からか満たされなくなった男は、
理想の少女を探すことにする。

ずっと…！

あの男に奪われた
君を……ッ！

君を…っ！

僕だけの
ものに…ッ！

ホロナミン